

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社 高松コンストラクショングループ 証券コード：1762

2024年2月7日

1. 2024年3月期 第3四半期決算	2
2. 2024年3月期 業績予想・配当予想	20

2024年3月期 第3四半期決算

企業集団の状況

土木	建築	不動産	主要営業エリア
	高松建設		東京・大阪・名古屋
	高松テクノサービス		大阪・東京
		高松エステート	大阪・東京
	住之江工芸		国内（全国）
	金剛組		大阪・東京
	中村社寺		名古屋
	タカマツビルド		東京・神奈川
	大昭工業		大阪
	青木あすなろ建設		国内（全国）
島田組			国内（全国）
みらい建設工業			国内（全国）
青木マリーン			国内（全国）
	エムズ		首都圏
東興ジオテック			国内（全国）
		タカマツハウス	東京・神奈川・埼玉
		ミブコーポレーション	東京・神奈川
		タカマツハウス関西	大阪・兵庫
		高松CG USA	米国
高松コンストラクショングループ（純粋持株会社）			

2024年3月期第3四半期業績

1

売上高：2,237億円、営業利益：65億円。

受注・売上・営業利益共に今期計画を下回った。

建築セグメントと不動産セグメントの業績悪化が要因。

2024年3月期通期業績予想

2

売上高3,100億円（前期比9.7%増）、営業利益110億円（前期比8.6%減）の見通しに修正。

公共建設投資、民間建設投資ともに堅調であり増収となるものの、原材料価格、資機材価格の高止まり、労務費の上昇が続いていることから減益となる見込み。

株主還元

3

業績見通しを修正したものの、配当については、累進配当を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の下限を70円に設定している。

この方針に基づき、予定通り1株あたり77円を維持する予定。

2024年3月期 第3四半期 業績推移

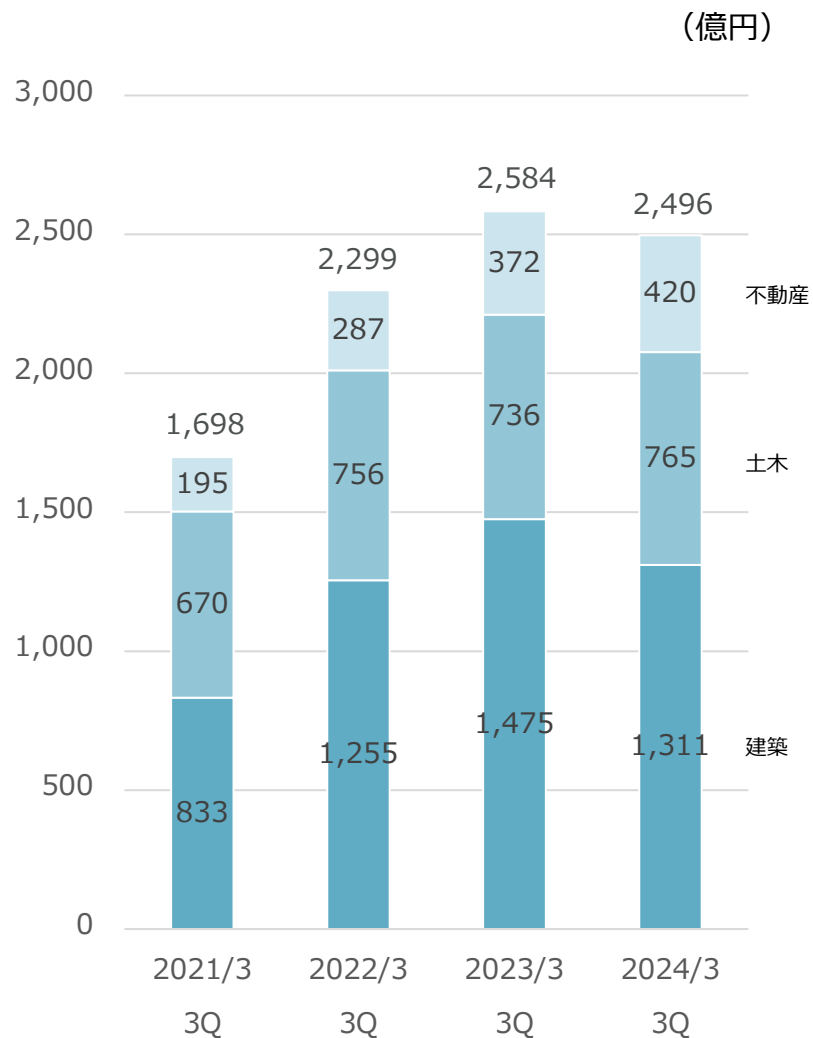
(億円)

項目	2021/3期 3Q	2022/3期 3Q	2023/3期 3Q	2024/3期 3Q	増減率
受注高	1,698	2,299	2,584	↓ 2,496	△3.4%
売上高	2,097	1,906	2,036	↑ 2,237	+9.9%
売上総利益	274	273	290	↑ 301	+3.6%
売上総利益率	13.1%	14.3%	14.3%	↓ 13.5%	△0.8pt
営業利益	80	67	68	↓ 65	△4.0%
営業利益率	3.9%	3.6%	3.4%	↓ 2.9%	△0.5pt
経常利益	81	68	70	↓ 64	△8.8%
経常利益率	3.9%	3.6%	3.5%	↓ 2.9%	△0.6pt
親会社株主帰属 四半期純利益	48	41	40	↓ 35	△13.0%
四半期純利益率	2.3%	2.2%	2.0%	↓ 1.6%	△0.4pt

セグメント別 受注高

◆ 建築は高松建設の減少が影響し前年同期比△11.1%、土木は前年同期比+4.0%、不動産はタカマツハウスの増加により前年同期比+12.6%。

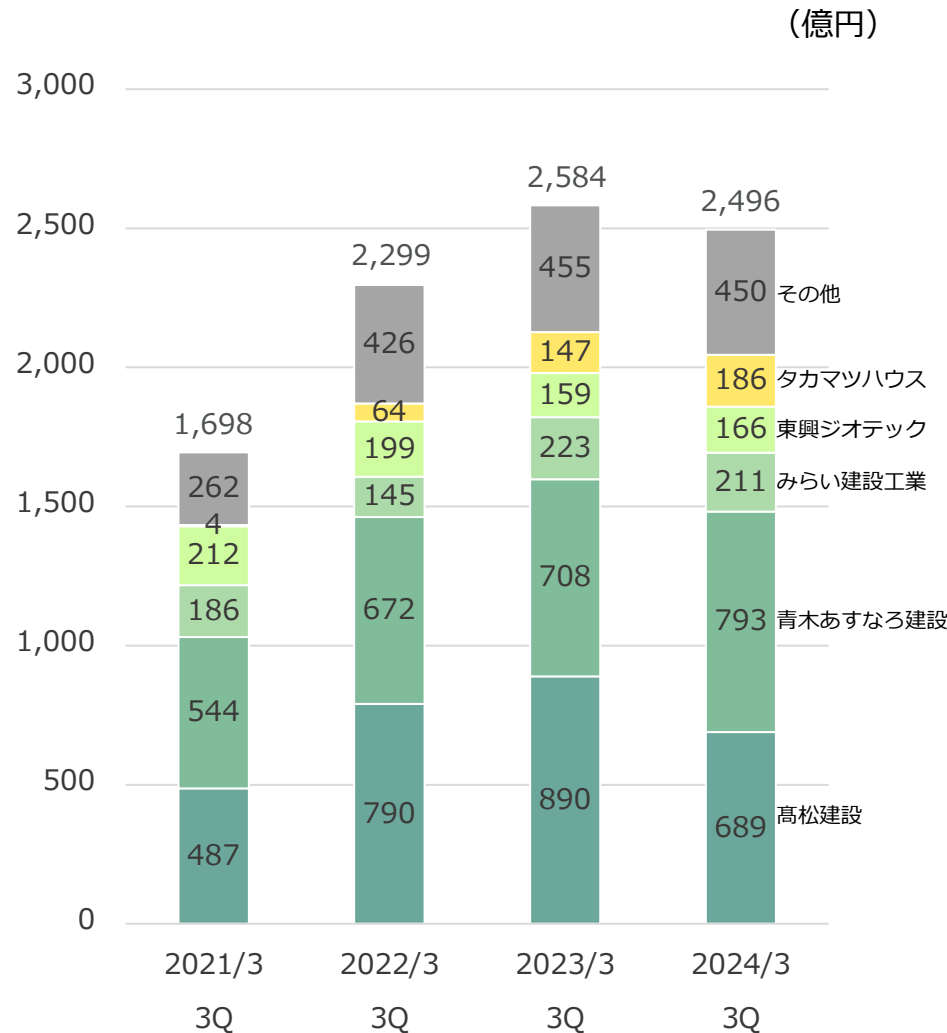
セグメント別	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q	2024/3 3Q
建築	83,358	125,599	147,565	131,159
土木	67,011	75,674	73,611	76,522
不動産	19,503	28,726	37,299	42,004
連結合計	169,873	229,999	258,476	249,686



中核事業会社別 受注高

◆ 高松建設は前年大阪市淀川区で大型案件受注があり、その反動とマンションの受注減で前年同期比△22.6%、青木あすなろ建設は大型案件が複数あり前年同期比+12.0%。みらい建設工業は前年同期比△5.5%、東興ジオテックは前年同期比+4.6%。タカマツハウスは前年同期比+25.9%。

会社別	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q	2024/3 3Q
高松建設 (単体)	48,797	79,083	89,059	68,959
青木あすなろ 建設 (単体)	54,491	67,271	70,858	79,339
みらい 建設工業 (単体)	18,644	14,584	22,335	21,107
東興 ジオテック (単体)	21,272	19,946	15,918	16,656
タカマツ ハウス (単体)	465	6,482	14,792	18,617
その他 (含連結調整)	26,204	42,633	45,514	45,008
連結合計	169,873	229,999	258,476	249,686



中核事業会社別 次期繰越高

- ◆ 青木あすなる建設は受注の増加により前年同期比+16.4%、みらい建設工業は大型案件の工程回復により売上が増加し前年同期比△12.7%、タカマツハウスは受注の増加により前年同期比+64.1%、その他中核5社以外のグループ会社で前年同期比+13.2%。

(百万円)

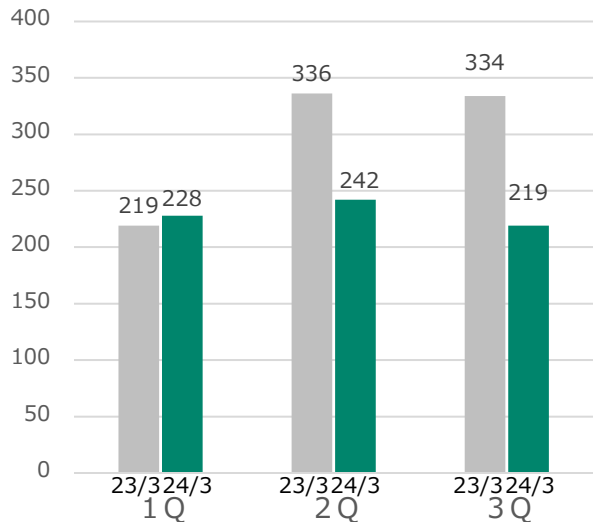
会社別	2023/3 3Q	2024/3 3Q	増減額	増減率
高松建設 (単体)	206,104	207,492	↑ 1,388	+0.7%
青木あすなる建設 (単体)	建築	86,154	↑ 13,380	+15.5%
	土木	60,798	↑ 10,732	+17.7%
	合計	146,952	↑ 24,113	+16.4%
みらい建設工業 (単体)	35,224	30,747	↓ △4,477	△12.7%
東興ジオテック (単体)	10,541	11,442	↑ 901	+8.5%
タカマツハウス (単体)	2,430	3,988	↑ 1,558	+64.1%
その他 (含連結調整)	21,543	24,394	↑ 2,851	+13.2%
連結合計	422,794	449,128	↑ 26,333	+6.2%

※個社の数値はグループ会社間取引を含む。

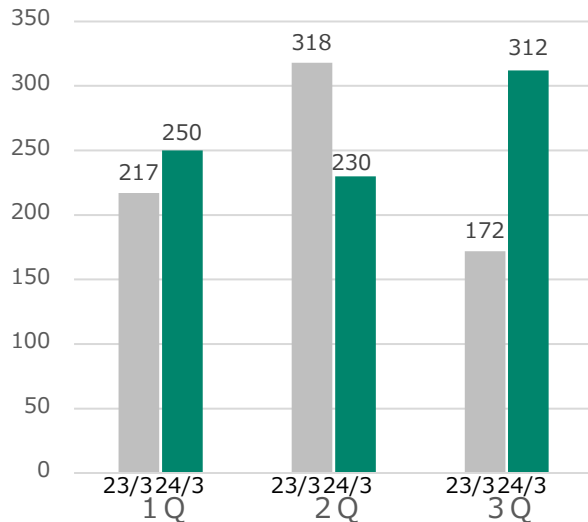
中核5社と連結合計の四半期ごとの受注高

(※ 数値は累計値ではなく四半期毎の金額)

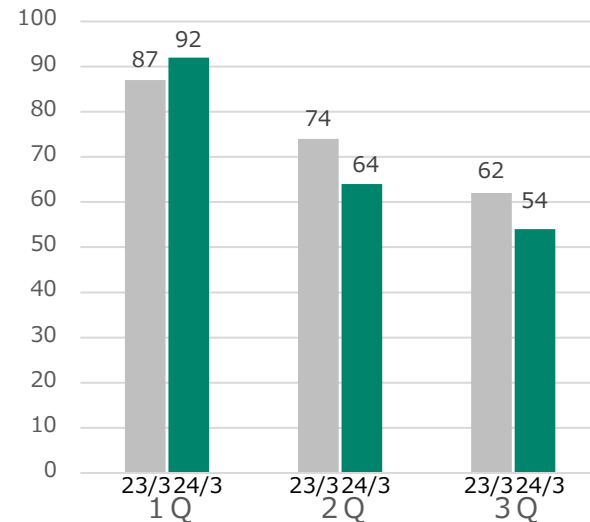
高松建設



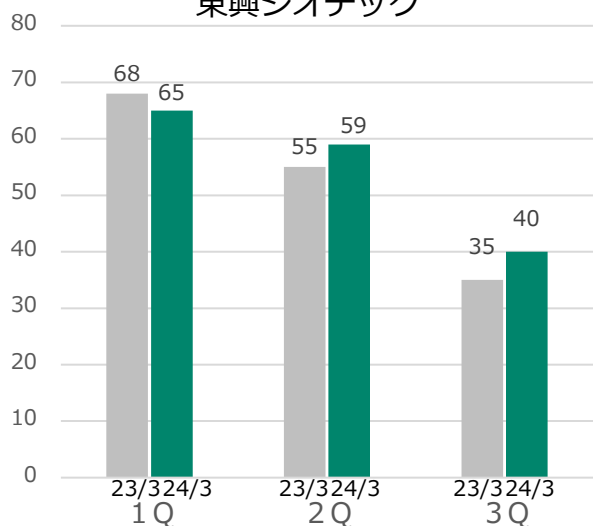
青木あすなろ建設



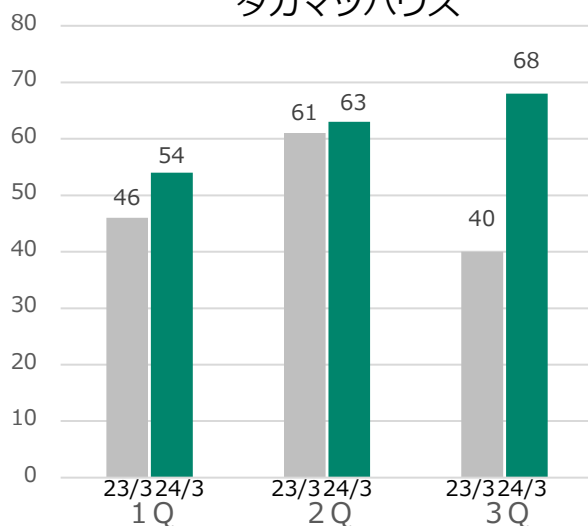
みらい建設工業 (億円)



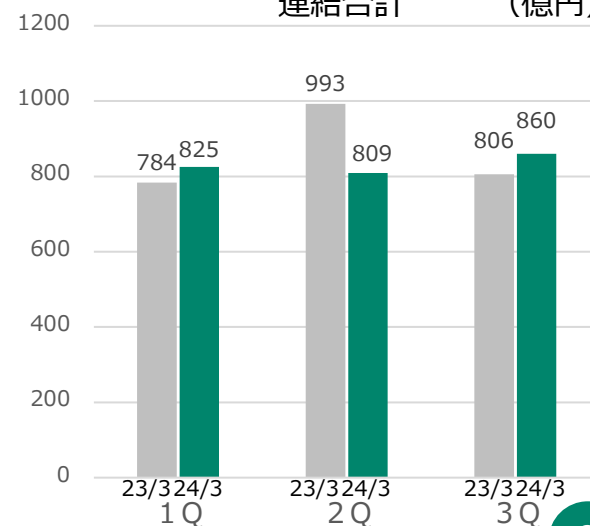
東興ジオテック



タカマツハウス



連結合計 (億円)



高松建設 マンション・非マンション別受注高

- ◆ 大阪・東京ともにマンションは受注時採算を重視したこともあり前年同期比大幅減。
- ◆ 大阪の非マンションは、前年同期に大阪市淀川区での大型案件受注があり、主にその反動で減少も、前々期との比較では増加（22/3期3Q大阪非マンション受注高：21,318百万円）。
- ◆ 東京の非マンションは前年同期比増。

マンション・非マンション別 受注高

(百万円)

	大阪				東京			
	2023/3 3Q	構成比	2024/3 3Q	構成比	2023/3 3Q	構成比	2024/3 3Q	構成比
マンション	11,301	22.0%	4,539	12.2%	30,147	80.2%	23,838	74.9%
非マンション	40,179	78.0%	32,606	87.8%	7,432	19.8%	7,976	25.1%
合計	51,480	100%	37,145	100%	37,579	100%	31,814	100%

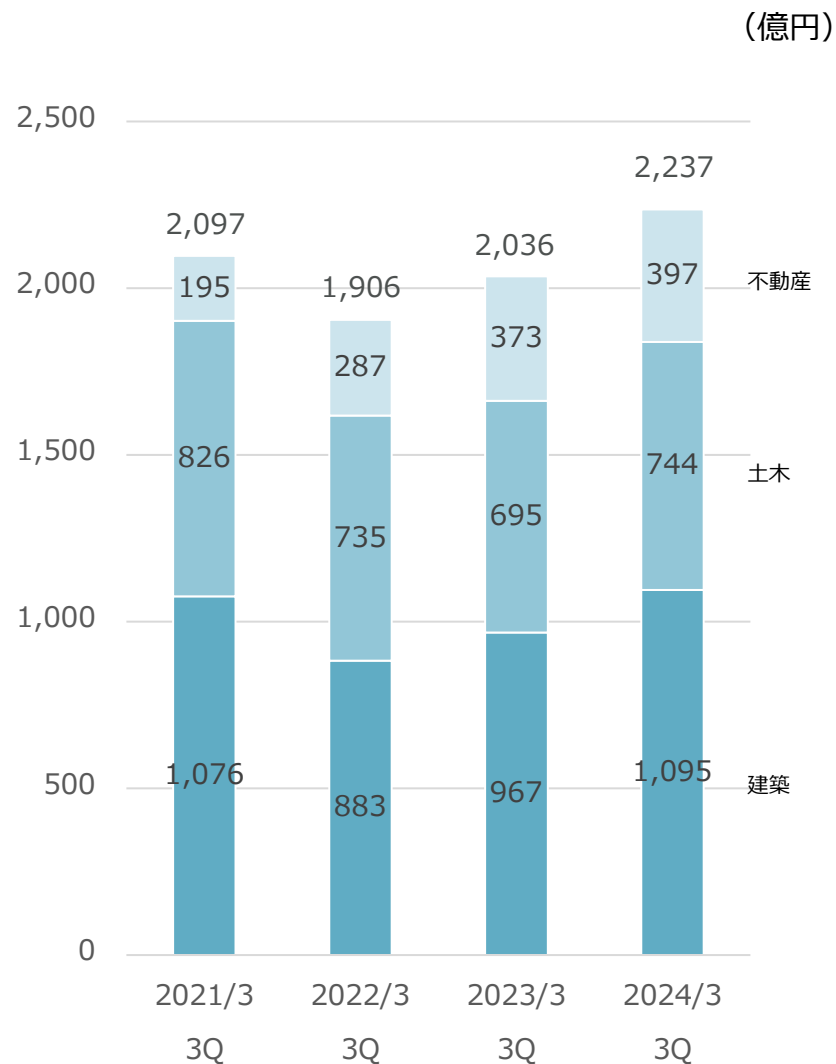
※数値はグループ会社間取引を含む。

セグメント別 売上高

◆ 建築は高松建設と青木あすなろ建設の増加により前年同期比+13.2%、土木はみらい建設工業で大幅増となり+7.1%、不動産はタカマツハウスの増加により+6.3%。

(百万円)

セグメント別	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q	2024/3 3Q
建築	107,652	88,326	96,767	109,506
土木	82,633	73,586	69,508	74,465
不動産	19,503	28,726	37,371	39,737
連結合計	209,788	190,639	203,647	223,709

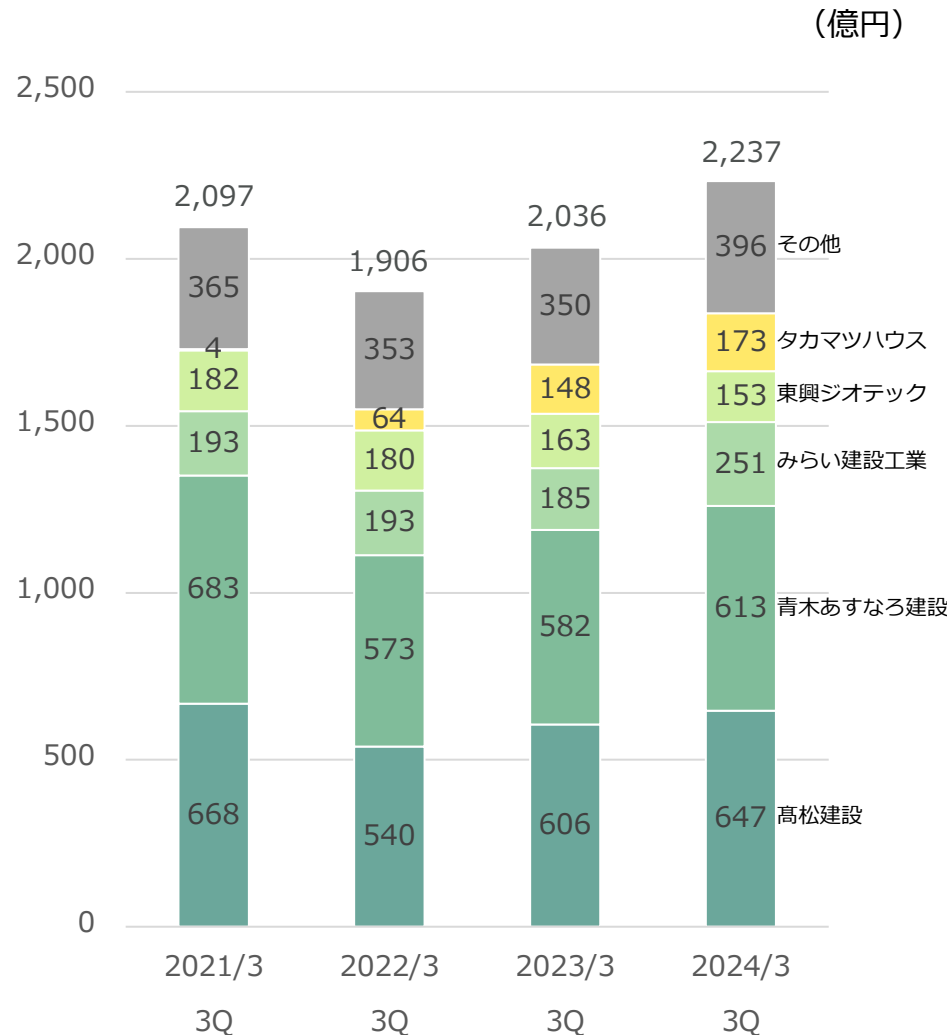


中核事業会社別 売上高

◆ 高松建設は前年同期比+6.9%、青木あすなる建設は前年同期比+5.4%、みらい建設工業は大型海上工事の工程回復により前年同期比+35.4%と大幅増、東興ジオテックは前年同期比△5.9%、タカマツハウスは前年同期比+16.5%。その他中核5社以外のグループ会社でも前年同期比+13.3%と大幅増。

(百万円)

会社別	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q	2024/3 3Q
高松建設 (単体)	66,863	54,079	60,600	64,758
青木あすなる 建設 (単体)	68,355	57,336	58,214	61,384
みらい 建設工業 (単体)	19,375	19,301	18,586	25,170
東興 ジオテック (単体)	18,224	18,090	16,351	15,386
タカマツ ハウス (単体)	465	6,482	14,864	17,314
その他 (含連結調整)	36,506	35,351	35,032	39,697
連結合計	209,788	190,639	203,647	223,709



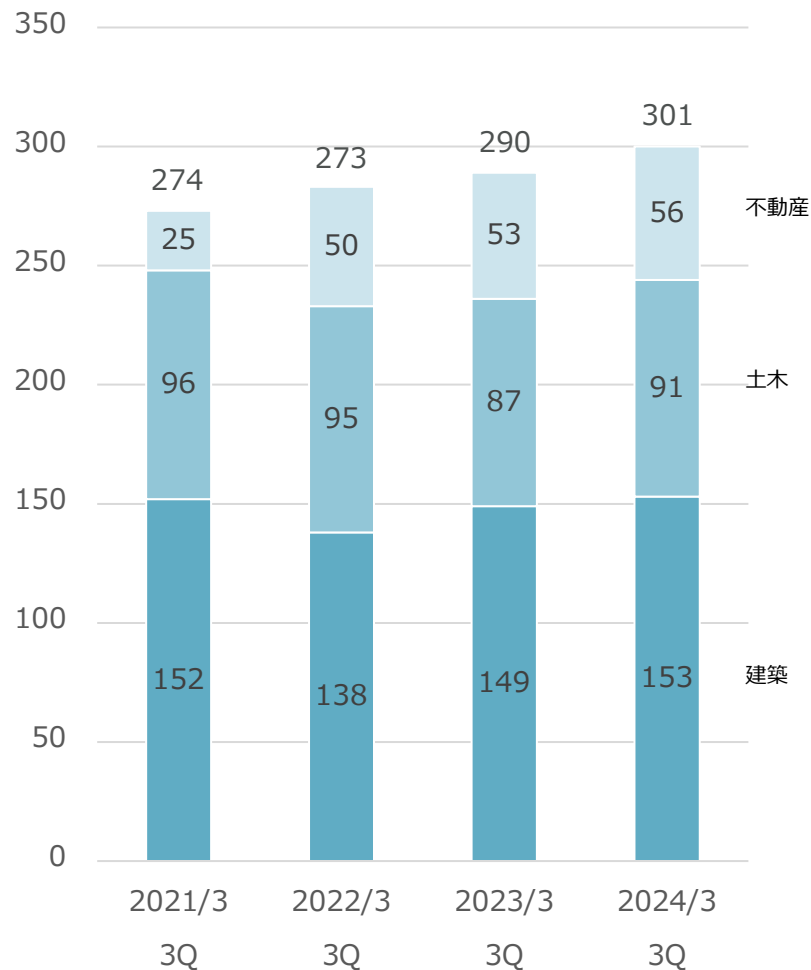
セグメント別 売上総利益

- ◆ 建築は青木あすなろ建設で減少したものの前年同期比+2.4%、土木は東興ジオテックで減少も、みらい建設工業とその他中核5社以外のグループ会社で増加し前年同期比+4.3%、不動産はタカマツハウスとその他中核5社以外のグループ会社で増加し前年同期比+5.7%。

(百万円)

セグメント別	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q	2024/3 3Q
建築	15,276	13,832	14,950	15,313
土木	9,608	9,546	8,744	9,120
不動産	2,550	5,006	5,384	5,692
連結合計	27,436	27,330	29,080	30,127

(億円)

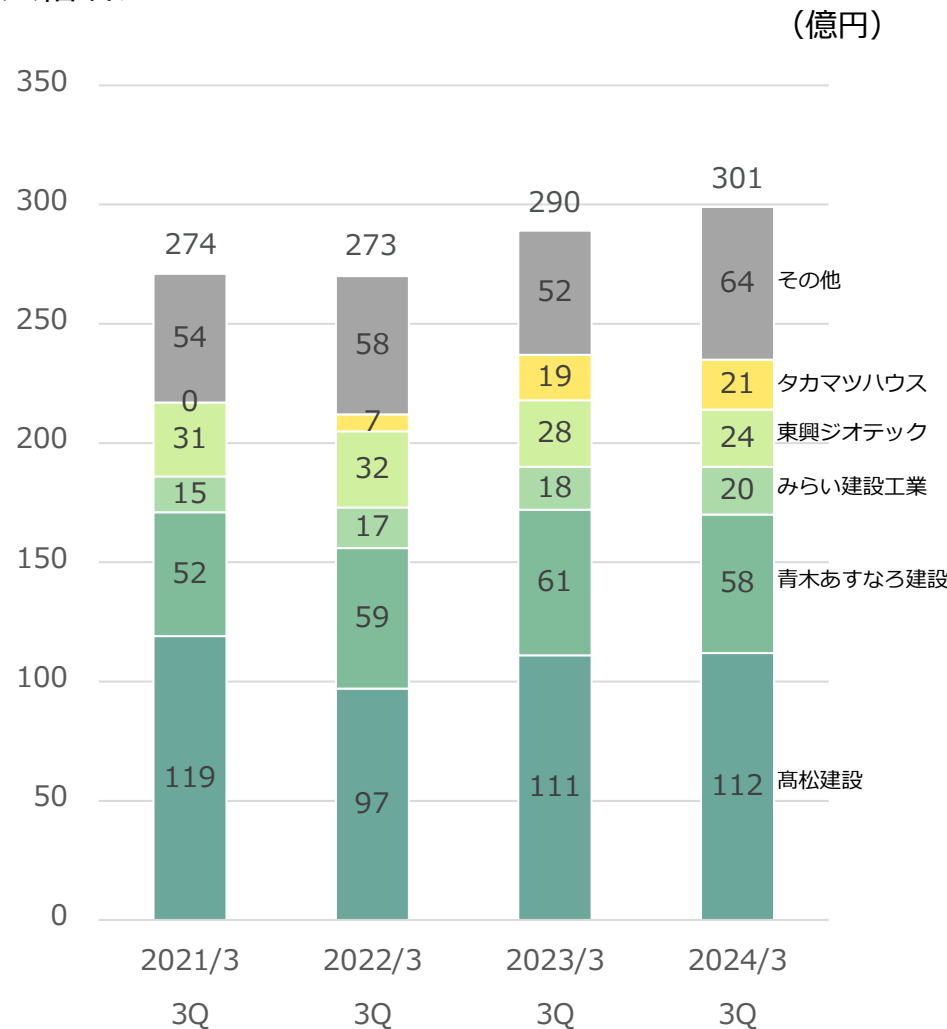


中核事業会社別 売上総利益

◆ 高松建設は前年同期比+0.9%と微増、青木あすなる建設は土木は前年並みであったものの建築で減少し全体としては前年同期比△5.6%、みらい建設工業は売上の増加により前年同期比+12.9%と大幅増、東興ジオテックは売上の減少により前年同期比△12.3%と大幅減、タカマツハウスは前年同期比+8.1%、その他中核5社以外のグループ会社でも前年同期比+23.8%と大幅増。

(百万円)

会社別	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q	2024/3 3Q
高松建設 (単体)	11,937	9,745	11,120	11,222
青木あすなる 建設 (単体)	5,245	5,958	6,150	5,808
みらい 建設工業 (単体)	1,597	1,789	1,846	2,085
東興 ジオテック (単体)	3,106	3,242	2,819	2,474
タカマツ ハウス (単体)	69	764	1,943	2,100
その他 (含連結調整)	5,482	5,832	5,202	6,438
連結合計	27,436	27,330	29,080	30,127

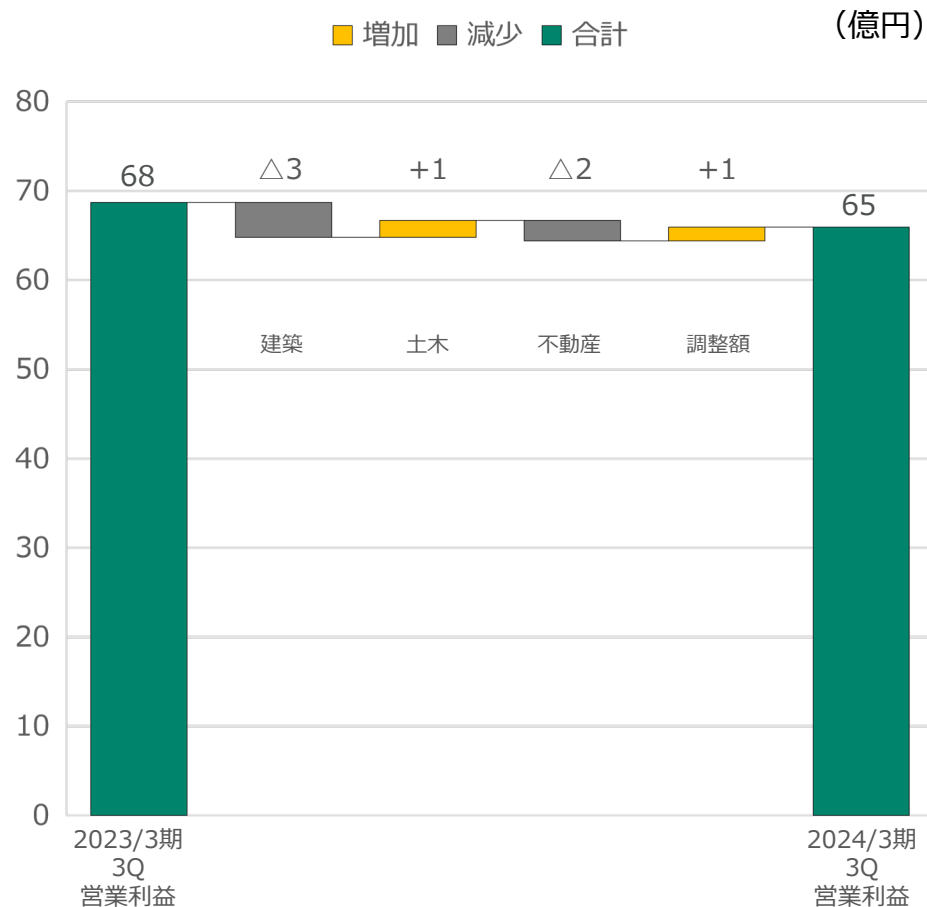


セグメント別 営業利益

◆ 建築は高松建設、青木あすなる建設で減少し、前年同期比△11.5%、土木は東興ジオテックで減少も、青木あすなる建設、みらい建設工業で増加し前年同期比+4.3%、不動産はタカマツハウスの減少により前年同期比△8.1%。

(百万円)

セグメント別	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q	2024/3 3Q
建築	4,119	1,979	3,410	3,017
土木	5,708	5,560	4,417	4,609
不動産	1,112	2,246	2,849	2,619
連結調整	△2,854	△2,987	△3,805	△3,651
連結合計	8,085	6,798	6,871	6,595



※各セグメントの数値はグループ会社間取引を含む。

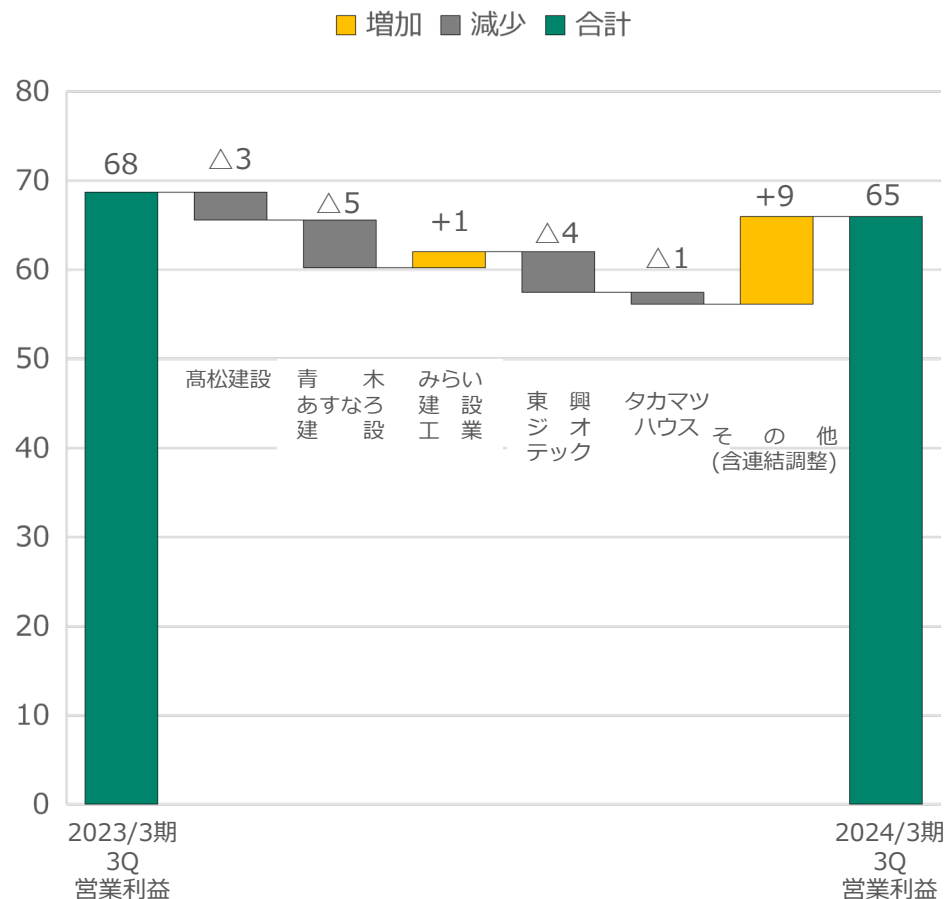
中核事業会社別 営業利益

◆ 高松建設は売上総利益率の低下、販管費の増加により前年同期比 $\Delta 10.7\%$ 、青木あすなる建設は売上総利益率の低下、販管費の増加により前年同期比 $\Delta 30.5\%$ と大幅減、みらい建設工業は売上総利益率は低下したものの売上が増加したことにより前年同期比 $+52.3\%$ と大幅増。東興ジオテックは売上の減少、売上総利益率の低下、販管費の増加により前年同期比 $\Delta 32.1\%$ と大幅減、タカマツハウスは売上総利益率の低下、販管費の増加により、前年同期比 $\Delta 15.5\%$ と大幅減。その他中核5社以外のグループ会社は前年同期比約9.8億円増加し黒字転換した。

(百万円)

(億円)

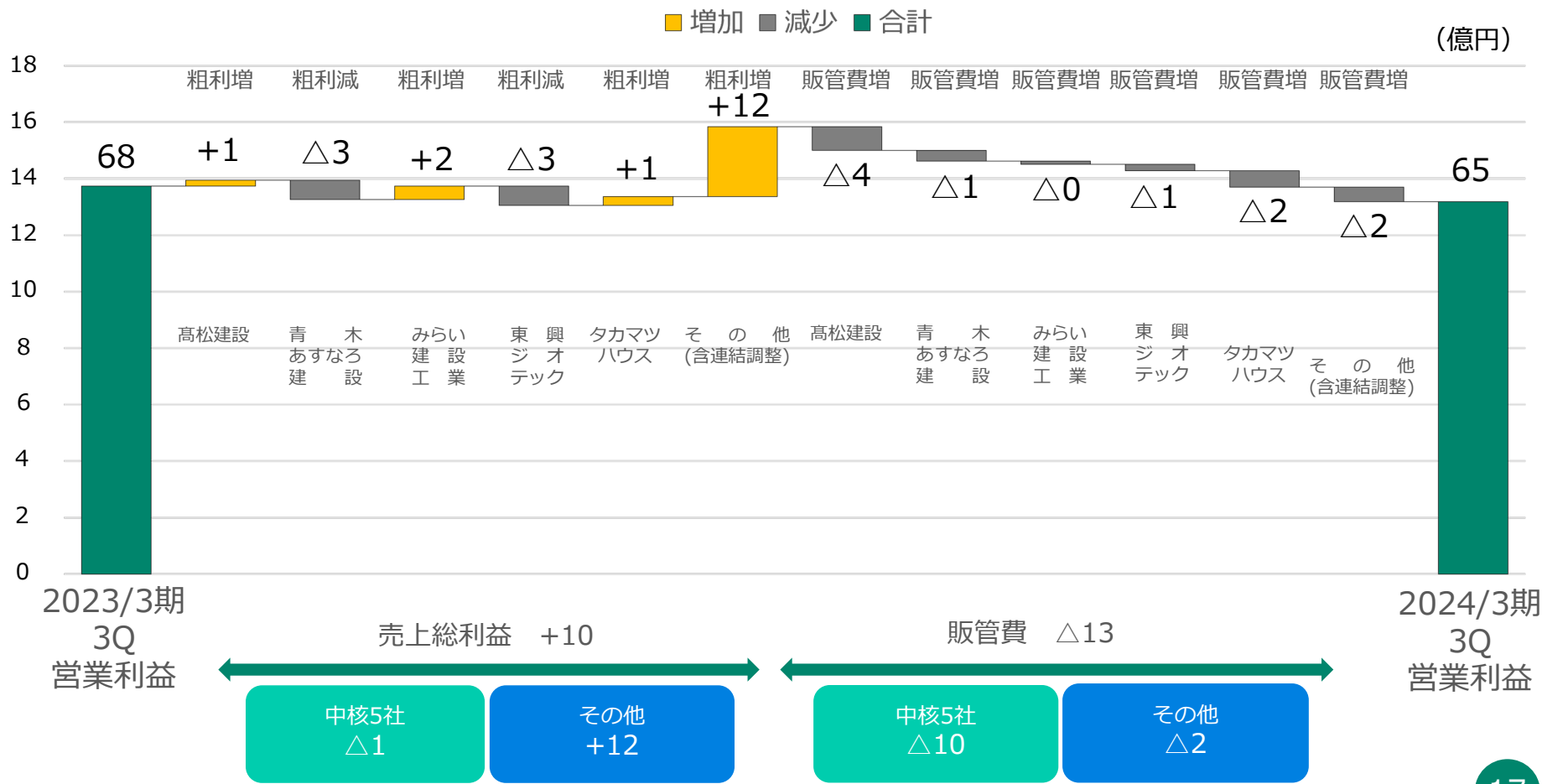
会社別	2021/3 3Q	2022/3 3Q	2023/3 3Q	2024/3 3Q
高松建設 (単体)	4,345	1,911	2,922	2,609
青木あすなる 建設 (単体)	1,102	1,693	1,761	1,224
みらい 建設工業 (単体)	237	385	344	524
東興 ジオテック (単体)	1,847	1,956	1,418	962
タカマツ ハウス (単体)	$\Delta 210$	94	855	723
その他 (含連結調整)	764	759	$\Delta 429$	553
連結合計	8,085	6,798	6,871	6,595



売上総利益・販管費 営業利益増減分析

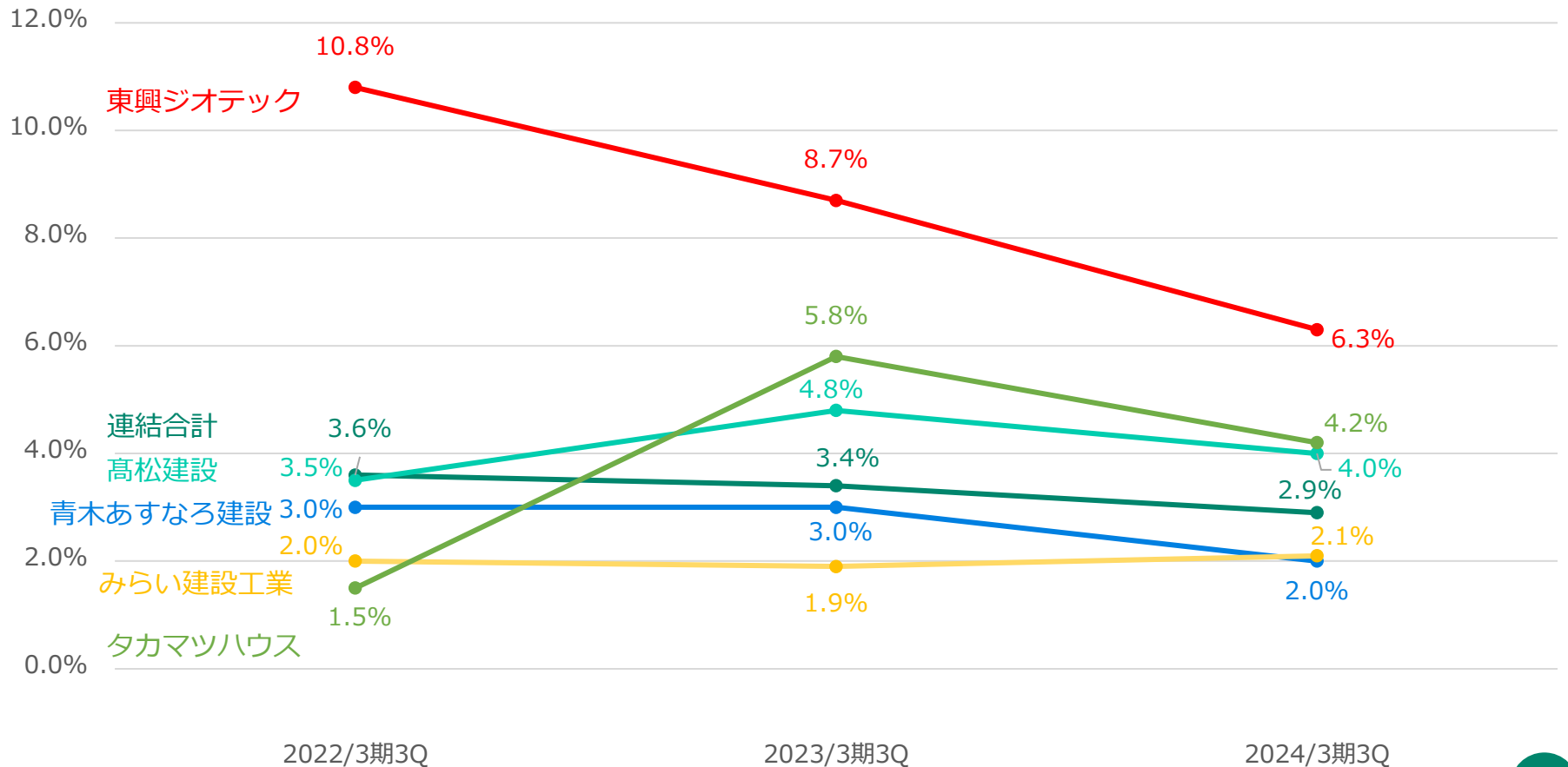
◆ 青木あすなる建設および東興ジオテックの売上総利益減を、主にその他中核5社以外のグループ会社の売上総利益増で補い、前年同期比約10億円の売上総利益増。販管費は主に高松建設、青木あすなる建設、タカマツハウス、高松コンストラクシヨングループで人件費が増加し、前年同期比約13億円の増加となり、営業利益は全体で前年同期比約3億円の減少となった。

営業利益増減分析



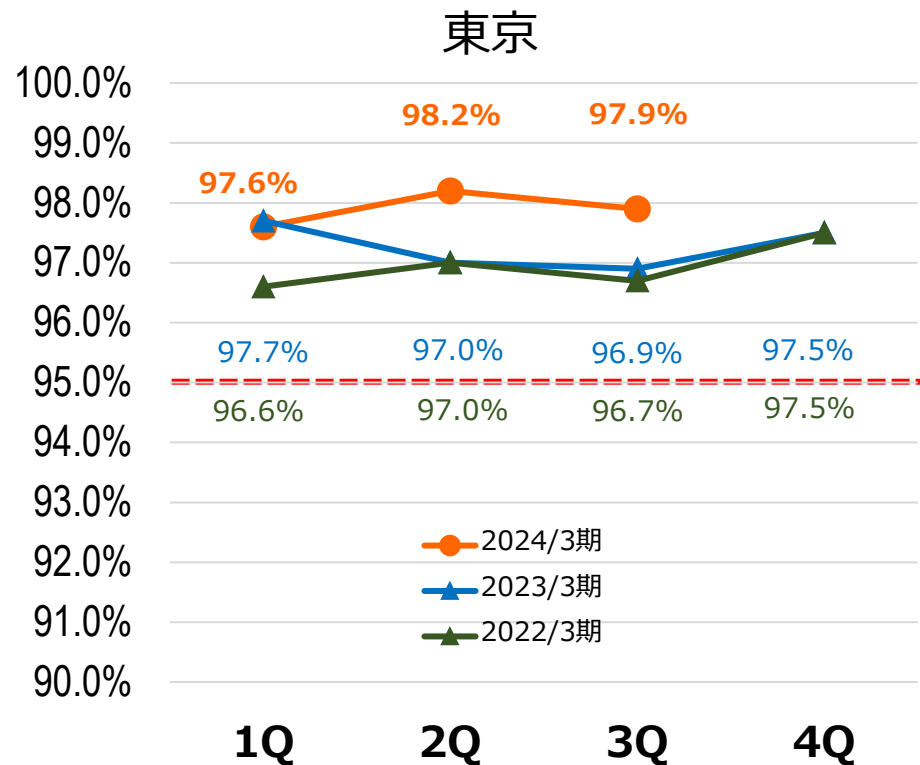
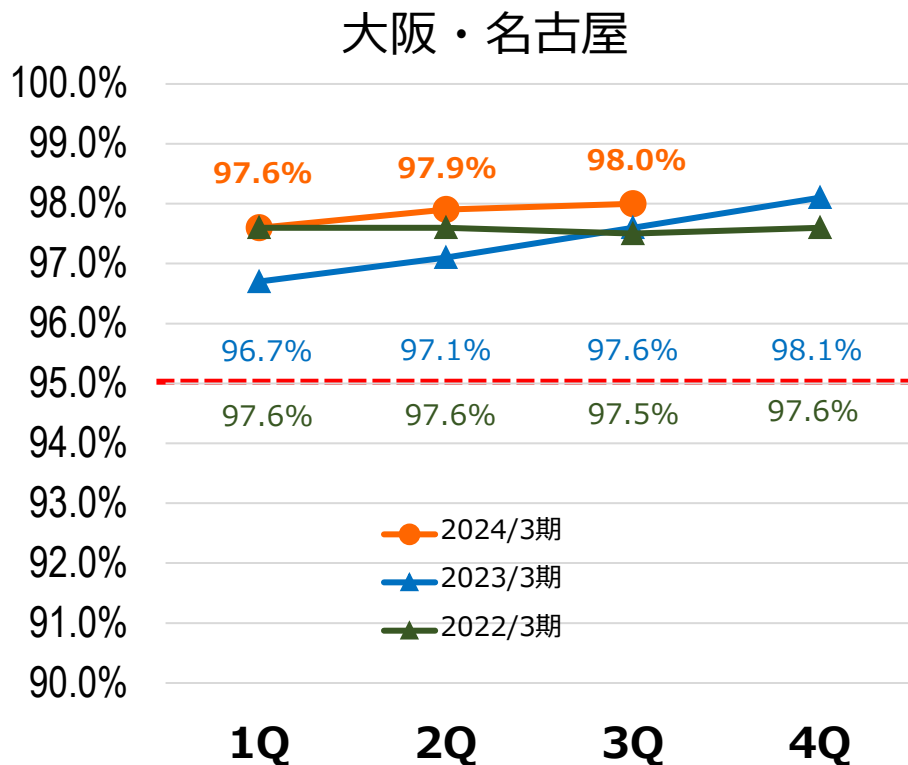
連結合計と中核5社の営業利益率

- ◆ 高松建設の売上総利益率は前年同期比 $\Delta 1.1$ pt、賃金水準の引き上げにより販管費のうち主に人件費が増加し、営業利益率は前年同期比 $\Delta 0.8$ pt。
- ◆ 青木あすなろ建設の売上総利益率は前年同期比 $\Delta 1.1$ pt、採用の継続と賃金水準の引き上げにより販管費のうち主に人件費が増加し、営業利益率は前年同期比 $\Delta 1$ ptと減少。みらい建設工業は前年同期比 $+0.2$ ptと微増。
- ◆ 東興ジオテックは売上総利益率が前年同期比 $\Delta 1.1$ ptとなり、営業利益率は前年同期比 $\Delta 2.4$ ptと大幅減。
- ◆ タカマツハウスの売上総利益率は前年同期比 $\Delta 1$ pt、販管費のうち主に人件費が増加し、営業利益率は前年同期比 $\Delta 1.6$ ptと減少。



高松エステートにおける高松建設施工物件の入居率

◆ 入居率は24/3月期3Qも95%以上を維持。



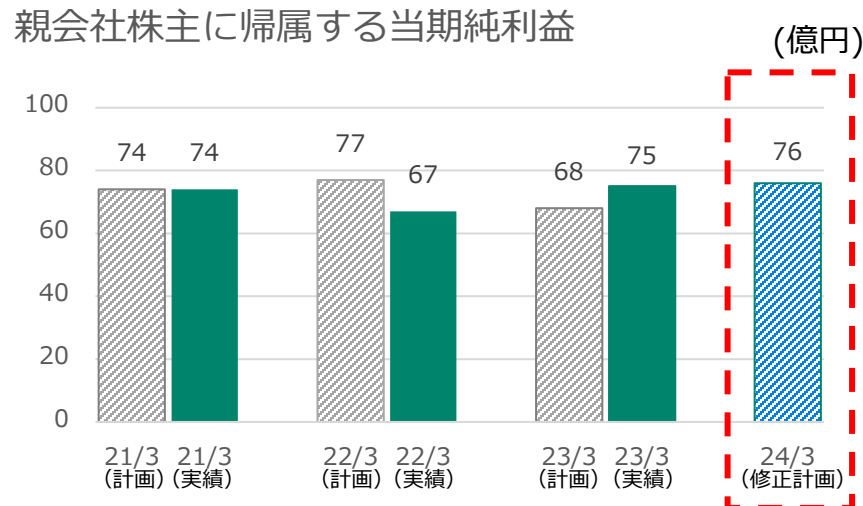
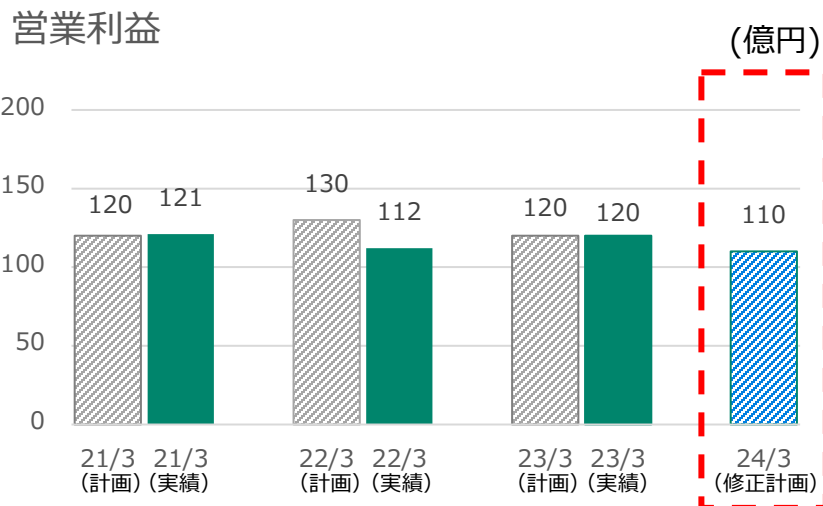
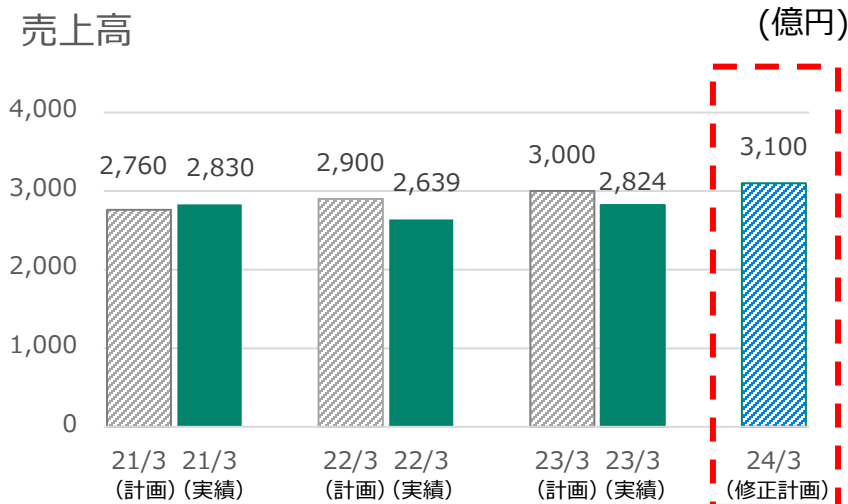
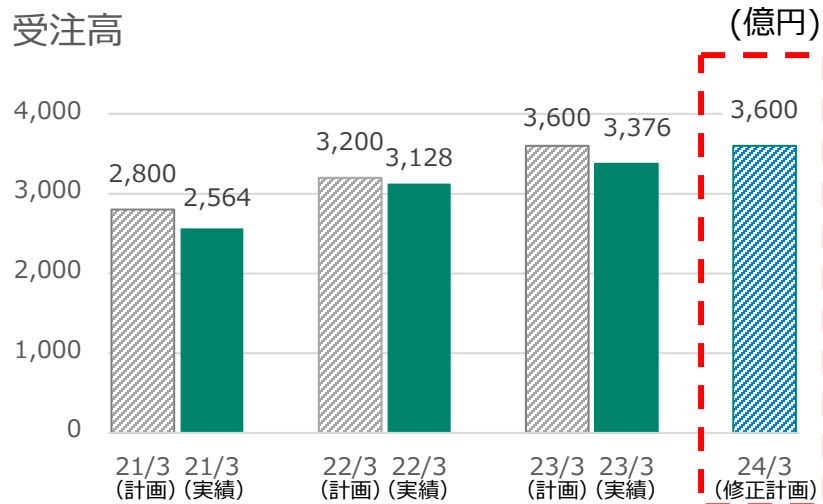
定義：
 「大阪・名古屋」＝大阪府、京都府、兵庫県、名古屋市
 「東京」＝東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県
 「入居率」＝各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の入居戸数
 ÷各四半期末時点の高松エステートが管理している高松建設施工物件の総戸数

2024年3月期
業績予想・配当予想

2024年3月期 業績予想

◆ 2023年5月10日に公表した2024年3月期通期の連結業績予想を修正。

◆ 2024年3月期の期末配当については当初予定通り1株あたり50円00銭（年間77円）を予定。



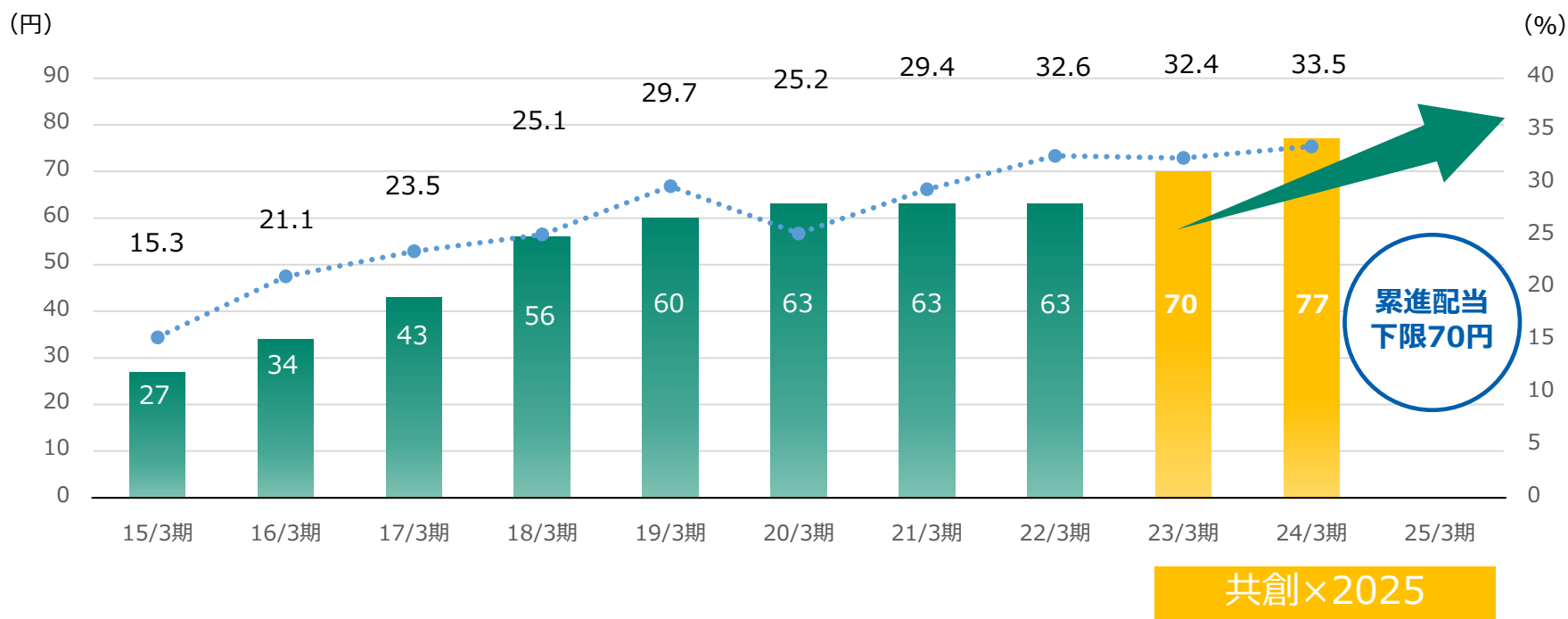
2024年3月期 業績予想のポイント

2024年3月期第3四半期 業績の総括	<ul style="list-style-type: none">受注・売上・営業利益ともに予定を下回った。原材料価格、資機材価格、労務費の上昇が続いたため、売上は前年同期比で増加となったものの、受注・営業利益については前年同期比で減少となった。
事業環境認識	<ul style="list-style-type: none">公共建設投資は、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」、民間建設投資においては、外部環境の回復基調を受けどちらも堅調に推移。原材料価格、資機材価格の高止まり、労務費の上昇が続いており、依然として高い水準となっている。一部設備に関してはリードタイムが長くなっているだけでなく、設備業者の施工人員も不足気味となっている。施工人員については慢性的に不足状態が続いている。
今期の見通し・取組み等	<ul style="list-style-type: none">建築セグメントは企業の堅調な設備投資意欲により堅調に推移する見込みであるが、原材料価格、資機材価格は高止まりが続いており、労務費の上昇、設備調達のリードタイム長期化などにより受注環境の厳しさが増してきている。賃貸マンションについて、市場は堅調に推移する見込みであるが、原材料価格、資機材価格や労務費の高騰により建築コストが上昇しており、収益確保のために選別受注をおこなっている。不動産セグメントは住宅ローンの固定金利の上昇傾向、また建設資機材価格の高騰により住宅価格が上昇基調にあり、販売環境の鈍化傾向が続いている。公共事業については物価スライドが適用されるケースもあるが、民間発注の工事については発注者への転嫁への理解が得られないケースもあり、利益圧迫要因となっている。

2024年3月期 配当予想（配当額・配当性向）

- ◆ 中期経営計画「共創×2025」（2023年3月期～2025年3月期）の対象年度においては**累進配当**を基本方針とし、年間の1株当たり配当金額の**下限を70円に設定**。業績に連動した利益還元をおこなう。
- ◆ 2023年3月期の配当額は1株当たり70円と、期初発表の63円より**7円の増額**。
- ◆ 2024年3月期の配当額は1株当たり77円と、2023年3月期配当額より**7円の増額**予定。

配当額・配当性向 推移



高松コンストラクシヨングループ

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の実績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。また、当資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。